

消防学校 ニュース



平成30年7月17日発行

交通救助訓練



体育「スキンドイビング」

初任科第89期

後半戦へ突入！



教育訓練 急ピッチ！



航空救出訓練



激励？小さなサポーターたち



涼しい？体力錬成！

交通救助



救助訓練のうち、交通救助事案の基本的な対応要領を習得するための交通救助訓練です。最初に座学で交通救助における活動要領を学びます。そして、外に出た訓練では、実際の車両を用いた基本構造の説明の後、いよいよ車両破壊及び車外救出の訓練を行います。

この訓練では廃車となった車両が事故車両として大活躍します。



スタートは教室で。講師である教官の話聞く初任科生たちの真剣な姿…。



さあ、屋外。炎天下、資料と実物を見比べながら、教官の説明に耳を傾けます。(中には初めてボンネットを開ける学生も…)



最新の資機材を使用して、車両の開放、ガラスの破壊等を行います。



まずは頸椎保護、次にバックボードを使用した車外救出をチームで懸命に試みます。



最新の救助工作車、地味に活躍!



〈モリタ製〉
消防ポンプ付き救助工作車(Ⅱ型)

本年2月に本校にお目見えした最新鋭の救助工作車は、救助用資機材を満載して、初任科生たちを後押しします。



〈CAFS装置〉
ミラクルCAFS MMC3800

タンゴダンス (~ 用手による緊急時の車外救出方法)



毛布を利用した応急固定



水難救助



今期の水難救助訓練(体育:スキューバダイビング)は、時間割の編成上、1日(7時間)のみとなっています。そのため、初任科生たちが少しでも水やプールに慣れ、限られた訓練時間の成果を少しでも上げられるよう、課外時間のプール開放(希望者対象)を行いました。もちろん、教官たちが立会い、安全を確保するとともに、基本的な事項について指導しました。課外でも訓練のときでも、プールの中では皆明るい顔でした。



(有)ダイビングベルの鈴木講師が指導します。座学は水難事故と対処法、救助法についてです。



入水法



事故者救助法(直接救助)



セルフレスキュー～着衣泳体験と工夫



ヘルメット



セルフレスキュー～浮力の確保法

活動服(ズボン)



事故者救助法(資機材利用)



スローバックを使用し、泳がずに溺者を救助

深いプールで耳抜きにトライ

★この人達—本校教官です



航空救出

静岡県消防防災航空隊との連携訓練を通じて、災害時の後方支援活動の習得を図るため、航空救出訓練を実施しました。航空消防活動等に係る講義を受けた後、消防防災ヘリコプター（オレンジロー号）による実機訓練を消防学校の屋外訓練場において行い、事前に選ばれた初任科生たちが救出訓練に参加しました。消防防災ヘリは機体更新を予定しており、本年度中に新たな機種が県へ納入されます。

航空隊の概要や救助資機材、機体誘導要領の説明がありました。



防災ヘリが
消防学校へやってきたあ！



初任科生が
着陸誘導を
行います

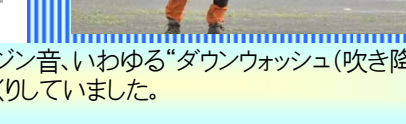
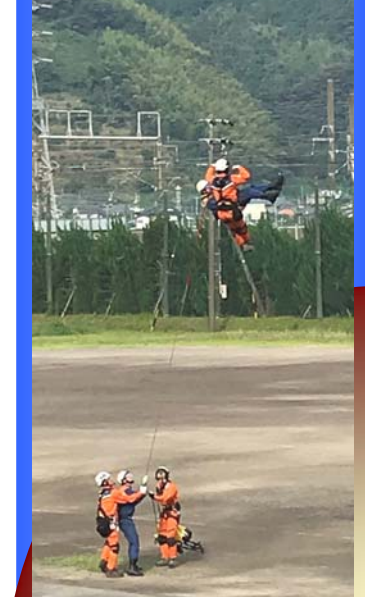


機体説明、駐機訓練
見学を実施しました





ヘリ誘導、機内員、
要救助者、誘導ロー
プと、選ばれた初任
科生は緊張しながら
も貴重な体験をす
ることができました



ヘリコプターの周辺一帯に響き渡るエンジン音、いわゆる“ダウンウォッシュ(吹き降ろし)”により地表を襲う凄まじい風には、学校近隣の住民の皆さんもびっくりにしていました。



7月10日(火)には富士山南東消防本部、翌11日(水)には掛川市消防本部、12日(木)には磐田市消防本部が、お忙しい中、初任科生の激励に駆けつけてくれました。

10日から12日はちょうど実科訓練でクラス毎に「体育(スキューバダイビング)」「交通救助訓練」「消防活動応用訓練(FFS【高所脱出】【自力脱出】、シャッター破壊訓練、ドア開放訓練、水圧開錠訓練)」をローテーションで行う日程となりました。なお、シャッター破壊訓練は、文化シャッターサービス様の格別の御協力を得て実施しているものです。

各消防本部には、所属の初任科生たちとの昼食後、午後からの実科訓練の様子を熱心に御覧いただきました。初任科生たちはその視線を励みに訓練に取り組めたと思います。誠にありがとうございました。



7月10日(火)
富士山南東
消防本部

齋藤 忍 消防長
坂本 春樹 総務課総務係員
にお越しいただきました。



ドア開放訓練



シャッター破壊訓練



7月11日(水)
掛川市
消防本部

白畑 喜久雄 消防長
松井 務 掛川市中央消防署長
平井 良宏 消防総務課主幹兼
消防広域化専門官
にお越しいただきました。



プール施設の地下に
設けてある窓から水
中の様子を観察



お疲れ様でした…



7月12日(木)
磐田市
消防本部

矢部 宏明 消防長
渥美 睦美 消防次長兼
 磐田消防署長
名倉 章 消防総務課長
外1名にお越しいただきました。



小さなサポーターたちが激励(?)にやってきた!



訓練中の初任科のお兄さん、お姉さんたちの動きや赤い消防車両に園児たちは興味津々。

近隣のこども園の園児たちが先生に連れられて久しぶりに消防学校にやってきました。いつもでしたら、訓練を実施していない屋外訓練場(グラウンド)で走り回りますが、今日は残念ながら初任科生の訓練、そして静岡市消防局の火災調査研修の実習が行われていたため、遠くからその様子を見学することになりました。暑い中、ピンクのお揃いの帽子を被って、みんな元気です。



園児たちの間で学校教官はモテモテです。

名残惜しそうに園児たちのお帰りで。また来てね。くれぐれも熱中症には気をつけてくださいよ。

危険物取扱者試験!

平成 30 年 6 月 14 日実施、7 月 3 日結果通知

《乙種第4類》 (ガソリン、灯油等)

受験者 119 名 合格者 107 名 合格率 89.9%

《乙種第2類又は第6類》

受験者 13 名 合格者 13 名 合格率 100%

【全体】

受験者 132 名 合格者 120 名 合格率 90.9%

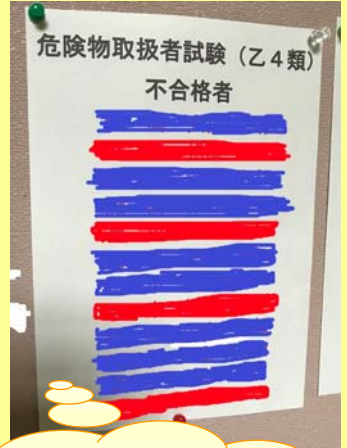
不合格者 12 名

受験しない者 2 名 (=既資格取得者)

「危険物取扱者」は、消防法に基づく危険物(火災の危険性が高い物質をまとめて指定)を取り扱ったり、その取扱いに立ち会うために必要となる日本の国家資格。

資格取得のための試験は、現在、全都道府県で指定試験機関(総務大臣が指定)である一般財団法人消防試験研究センターが行っている。

本校の場合、(一財)消防試験研究センター静岡支部の協力により、6月14日、本校において初任科生を対象とした危険物取扱者試験が実施された。



実際に掲示板に張り出された不合格者一覧

(今回写真は所属と氏名を赤又は青で塗りつぶしておきました)

担当教官コメント **主査 高瀬 紘士** (富士市消防本部から派遣)

「危険物」は、広範・多岐にわたり利用されていることから、消防機関が危険物に起因する災害に遭遇する機会は数多くあります。そのことから、危険物取扱者の資格を取得することが目的ではなく、消防職員として危険物に関する知識の習得は必要不可欠であるという本質を初任科生たちに伝え、試験に臨ませました。不合格だった者は在校期間中に再受験を行い、合格を目指します。

初任科第89期全員が資格を取得し、初任教育修了の日を迎えてもらいたいと思います。



区分	23年度後期		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度
	76期	77期	78期	79期	80期	81期	82期	83期	84期	85期	86期	87期	88期	89期	
乙4のみ	50.0%	56.7%	59.1%	54.5%	91.9%	52.2%	53.3%	42.1%	58.3%	72.8%	71.0%	91.6%	94.6%	89.9%	
乙4+各類	47.7%	60.7%	61.5%	58.5%	90.9%	54.1%	55.7%	45.7%	62.5%	74.7%	75.7%	90.7%	94.9%	90.9%	

Cool!?! 体力錬成 in 興津川

Heat Up?

No, Cool Down!

川へ行くぞ!

走って

走って

学校へ帰るぞ!

この日も 30 度を超える猛暑の中での救助訓練。ロープ渡過訓練を終えた初任科生たちの体を冷やします。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
 ☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞご覧ください。

静岡県消防学校

検索

